

岳温泉の湯もみとミルクデー

岳温泉の泉質は pH2.5 の酸性です。これはアルカリ性温泉が多い日本では珍しいことです。

低い pH の抗菌効果と水の硫黄分により、この温泉に浸かると乾癬や湿疹、皮膚の炎症が軽減される可能性があります。

温泉愛好家は、鉄山から長距離を運ばれてくることにより、湯のミネラル成分がより均一に混ざって肌に「まろやか」な湯心地となると考えています。このように湯がよく混ざるとは湯もみと呼ばれ、日本の他の温泉地でも行われています。

ミルクデー

岳温泉の湯を鉄山の源泉から送り出すパイプには、温泉水中の硫黄やその他のミネラルの堆積物が徐々に付着していきます。これらの堆積物は湯の花と呼ばれています。水の流れが妨げられないように、パイプは定期的に洗浄され、内部に溜まった堆積物がすべて一度に流し出されます。1週間以上分の湯の花が岳温泉に到着すると、その日はお風呂が乳白色に変わります。現在、岳温泉ではこれを「ミルクデー」というイベントとして宣伝しています。

夏にはミルクデーが毎週開催され、冬にはその頻度は約半分になります。具体的な日程は天候により清掃が可能になる日によって異なりますが、開催は事前にオンラインで発表されます。湯の花の独特の感触と芳醇な香りを求めて、あえてミルクデーに岳温泉を訪れる人も多くいます。普段より多いミネラル分は湯の鎮静作用を高めると感じる人もいます。